

# 財務情報

- 財務ハイライト
- 資金収支計算
- 事業活動収支計算
- 貸借対照表
- 経年比較



## 財務の概要 (2018年度)

### 財務ハイライト

学校法人東京電機大学の2018年度決算は、2019年5月31日開催の評議員会・理事会において承認されました。2018年度決算の概要は次のとおりです。

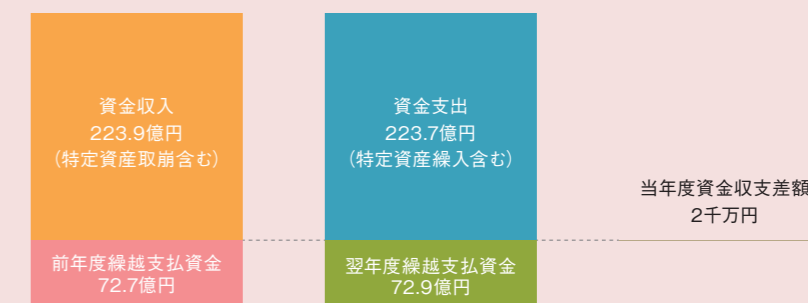
### 資金収支計算

資金収入 223.9億円

資金支出 223.7億円



この結果、翌年度繰越支払資金は72.9億円となりました。



### 事業活動収支計算

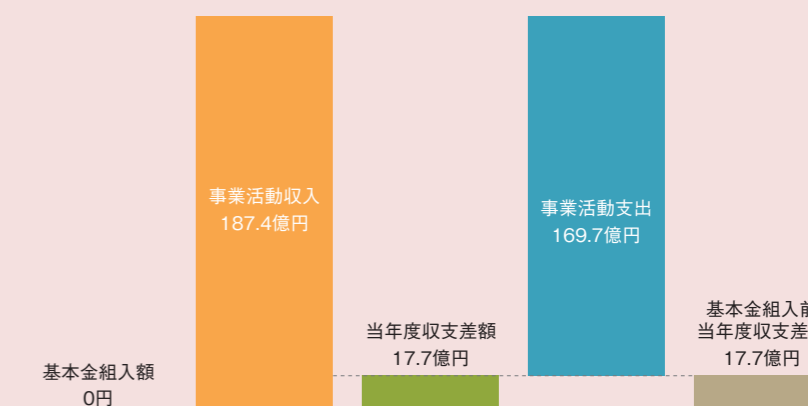
事業活動収入 187.4億円

事業活動支出 169.7億円

基本金組入額 0億円



この結果、当年度収支差額は17.7億円となりました。



### 貸借対照表 2018年度末(2019年3月31日)

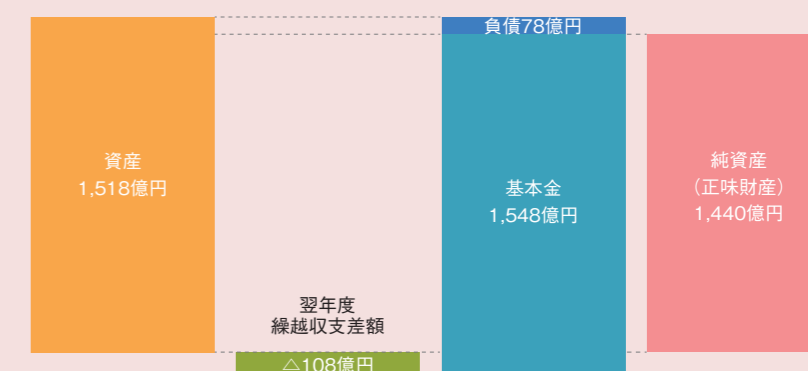
資産の部 1,518億円

負債の部 78億円

基本金 1,548億円



この結果、翌年度繰越収支差額は△108億円となりました。



## 2018年度に学園が優先的に取り組んだ主な事業

### [一般会計]

事業内容	経費
構造物動的加力試験装置	49,896
計	49,896

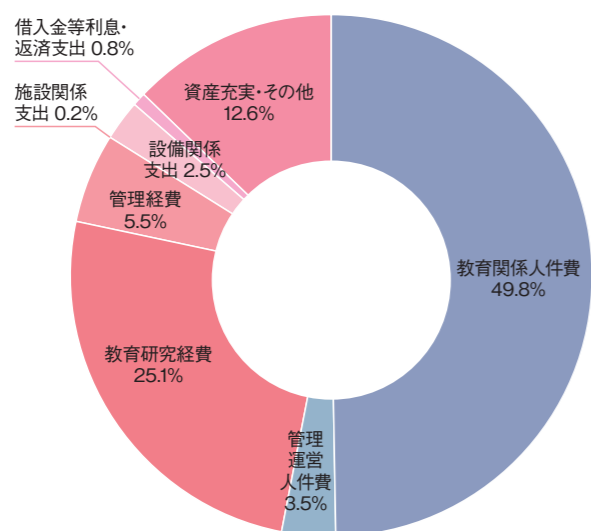
### [特別事業会計]

事業内容	経費
埼玉鳩山キャンパス1～3号館電気設備・内装改修工事	149,039
埼玉鳩山キャンパス10号館エレベータ更新工事	17,280
埼玉鳩山キャンパス11・12号館空調機更新工事	25,380
法人システム更新関連経費	62,672
教学システム更新関連経費	52,363
計	306,734

事業内容	経費
システムデザイン工学部設置に係る機械装置備品の購入経費	12,238
埼玉鳩山キャンパス学生厚生施設及び教育施設拡充事業	69,212
千葉ニュータウンキャンパス電気設備他改修工事	76,862
東京小金井キャンパスグラウンド等改修工事	232,200
出版局移転事業	179,221
計	569,733

## 学費・補助金収入の使われ方 (2018年度決算数値より)

2018年度の学費収入と国や地方公共団体等からの補助金収入を100とした場合の使用状況は次のとおりです。



経費の内訳	比率
教育関係人件費	49.8%
管理運営人件費	3.5%
教育研究経費	25.1%
管理経費	5.5%
施設関係支出	0.2%
設備関係支出	2.5%
借入金等利息・返済支出	0.8%
資産充実・その他	12.6%

次のページから学校法人会計基準に基づく2018年度(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の財務計算書を報告いたします。

## 資金収支計算

### 資金収支計算書について (学校法人会計基準第6条の要旨)

当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金(現金預金)の収入及び支出のてん末を明らかにすることを目的としています。

### 収入の部

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	14,121,141	14,027,552	93,589
手数料収入	604,271	700,183	△ 95,912
寄付金収入	217,000	386,263	△ 169,263
補助金収入	1,753,526	1,925,884	△ 172,358
資産売却収入	3,054,285	3,154,285	△ 100,000
付随事業・収益事業収入	261,582	378,790	△ 117,208
受取利息・配当金収入	205,703	207,650	△ 1,947
雑収入	469,356	521,697	△ 52,341
借入金等収入	0	500	△ 500
前受金収入	2,554,443	2,517,955	36,488
その他の収入	931,798	1,269,118	△ 337,320
資金収入調整勘定 <sup>(※1)</sup>	△ 2,499,554	△ 2,697,818	198,264
前年度繰越支払資金	4,912,079	7,266,244	△ 2,354,165
収入の部合計	26,585,630	29,658,303	△ 3,072,673

※1 資金収入調整勘定：当年度の収入科目が、前年度又は翌年度に入金となる場合の調整科目です。具体的には前年度以前に徴収済みの前受額を「前期末前受金」、当年度末の未収額を「期末未収入金」として表示します。

### 支出の部

科目	予算	決算	差異
人件費支出	8,585,947	8,514,736	71,211
教育研究経費支出	4,508,282	4,250,495	257,787
管理経費支出	1,006,672	913,839	92,833
借入金等利息支出	3,391	3,390	1
借入金等返済支出	116,710	116,710	0
施設関係支出	993,600	635,896	357,704
設備関係支出	577,281	474,399	102,882
資産運用支出	3,862,228	7,296,429	△ 3,434,201
その他の支出	117,446	360,611	△ 243,165
予備費	(72,892)	2,108	2,108
資金支出調整勘定 <sup>(※2)</sup>	0	△ 200,095	200,095
翌年度繰越支払資金	6,811,965	7,291,893	△ 479,928
支出の部合計	26,585,630	29,658,303	△ 3,072,673

※2 資金支出調整勘定：当年度の支出科目が、前年度又は翌年度に支出となる場合の調整科目です。具体的には前年度以前に支払資金の支出となったものを「前期末前払金」、翌年度以後に支払資金の支出となるものを「期末未払金」として表示します。

### ■予算と決算の差異の主な理由

#### ①収入の部

- 学生生徒等納付金収入(93,589千円減少)  
学費納入者が積算人数より減少し、納付額が予算計上額を下回りました。
- 手数料収入(95,912千円増加)  
志願者数の増加により、予算計上額を上回りました。
- 寄付金収入(169,263千円増加)  
サポート募金への高額寄付及び研究奨励寄付金の増加により、予算計上額を上回りました。
- 補助金収入(172,358千円増加)  
国庫補助金の私立大学等経常費補助金(一般補助)において、算定に係る増減率が好転し、補助金収入が予算計上額を上回りました。
- 資産売却収入(100,000千円増加)  
債券の早期償還により、売却収入が予算計上額を上回りました。
- 付随事業・収益事業収入(117,208千円増加)  
受託研究等の増加により、研究収入が予算計上額を上回りました。
- 雑収入(52,341千円増加)  
依頼等退職者の増加による財団からの交付金収入及び施設の学外貸与件数の増加による施設設備利用料収入が予算計上額を上回りました。
- その他の収入(337,320千円増加)  
サポート募金の各事業の財源として取崩した特定資産及び前期末未収入金収入等が予算未計上となり差異となりました。

### ■予算と決算の差異の主な理由

#### ②支出の部

- 人件費支出(71,211千円減少)  
大学教員の採用計画の変更により、予算計上額を下回りました。
- 教育研究経費支出(257,787千円減少)  
全般的な経費節減等により、予算計上額を下回りました。
- 管理経費支出(92,833千円減少)  
全般的な経費節減等により、予算計上額を下回りました。
- 施設関係支出(357,704千円減少)  
特別事業予算の未使用及び節減により、予算計上額を下回りました。
- 設備関係支出(102,882千円減少)  
助成事業(設備・装置助成他)の予算未使用により、予算計上額を下回りました。
- 資産運用支出(3,434,201千円増加)  
東京神田キャンパス15号館売却収入を特定資産に繰入れたことにより、予算計上額を上回りました。
- その他の支出(243,165千円増加)  
前年度確定数値(前期末未払金支払支出)が予算未計上となり差異となりました。

## 事業活動収支計算

### 事業活動収支計算書について (学校法人会計基準第15条の要旨)

当該年度の①教育活動、②教育活動以外の経常的な活動、①、②以外の活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金に組み入れる額を控除した当該年度の諸活動に対応する全ての事業活動収入及び事業活動支出の均衡の状態を明らかにすることを目的としています。

(単位：千円)

科目	予算	決算	差異
教育活動収入計	17,226,486	17,870,205	△ 643,719
教育活動支出計	17,511,624	16,899,203	612,421
教育活動収支差額①	△ 285,138	971,002	△ 1,256,140
教育活動外収入計	209,093	210,061	△ 968
教育活動外支出計	3,391	3,390	1
教育活動外収支差額②	205,702	206,671	△ 969
経常収支差額③	△ 79,436	1,177,673	△ 1,257,109
特別収入計	743,885	659,215	84,670
特別支出計	27,508	71,374	△ 43,866
特別収支差額④	716,377	587,841	128,536
予備費	17,115	—	17,115
基本金組入前当年度収支差額⑤	619,826	1,765,514	△ 1,145,688
基本金組入額合計⑥ <sup>(※1)</sup>	0	0	0
当年度収支差額	619,826	1,765,514	△ 1,145,688
前年度繰越収支差額	△ 19,771,950	△ 15,151,070	△ 4,620,880
基本金取崩額⑦ <sup>(※2)</sup>	1,472,527	2,571,838	△ 1,099,311
翌年度繰越収支差額	△ 17,679,597	△ 10,813,718	△ 6,865,879

(参考)

事業活動収入計	18,179,464	18,739,481	△ 560,017
事業活動支出計	17,559,638	16,973,967	585,671

※1 学校法人を維持するために必要な資産を継続的に保持するための組入額を表します。基本金取崩額がある場合にはその差額を表示することになりますが、取崩額が組入額を超える場合には0表示となります。

※2 資産売却や処分等による当該基本金の取崩額を表します。基本金取崩額が組入額を超える場合には、その超える金額を表示します。

### ■予算と決算の差異の主な理由

- ①教育活動収支差額(1,256,140千円増加)**  
事業活動収入では、学生生徒納付金以外の収入科目が増加し、事業活動支出では、大半の支出科目が減少したため、予算計上額を大幅に上回りました。
- ②教育活動外収支差額(969千円増加)**  
事業活動収入の受取利息・配当金が外国債券の金利上昇により、予算計上額を若干上回りました。
- ③経常収支差額(1,257,109千円増加)**  
主に経常的な本業の教育活動の収支である教育活動収支差額が増加し、経常収支差額は予算計上額を上回りました。
- ④特別収支差額(128,536千円減少)**  
事業活動収入において、助成事業(装置・設備助成他)の未実施に伴う補助金の減収があり、事業活動支出において、機器備品及び図書資産処分差額を計上したため、予算計上額を下回りました。
- ⑤基本金組入前当年度収支差額(1,145,688千円増加)**  
主に経常的な本業の教育活動の収支である教育活動収支差額が増加したことにより、基本金組入前当年度収支差額は予算計上額を上回りました。
- ⑥基本金組入額合計(増減0)**  
当年度の資産除却額が資産取得額を上回ったため、基本金組入額は0となりました。
- ⑦基本金取崩額(1,099,311千円増加)**  
当年度の資産取得額が予算を下回ったことに加え、資産除却額が大幅に予算を上回ったため、その差額を基本金取崩額として追加計上したことにより差異が生じました。

基本金の取崩額の内訳及び2019年3月末の基本金は、次のとおりです。

	基本金取崩額	2019年3月末 基本金
<b>(第1号基本金)</b>		<b>148,229,679千円</b>
本年度取得資産額 (自己資金による支払分)	1,110,294千円	
本年度取得資産額 (寄贈分)	41,270千円	
前年度取得資産に係る 未払金の本年度支払額	76,785千円	
過年度取得資産に係る 借入金返済金額	206,100千円	
本年度除却額	△ 4,006,287千円 △ 2,571,838千円	
<b>(第2号基本金)</b>		<b>0千円</b>
該当なし		
<b>(第3号基本金)</b>		<b>5,500,000千円</b>
該当なし		
<b>(第4号基本金)</b>		<b>1,120,000千円</b>
該当なし		

## 貸借対照表

### 貸借対照表について (学校法人会計基準第32条の要旨)

資産の部、負債の部及び純資産の部の科目ごとに、当該会計年度末の額を前会計年度末の額と対比して、当該会計年度末の財産の状態を表すものです。

### 資産の部

(単位：千円)

科目	年度	2017末	2018末	増減
固定資産		142,898,987	144,314,675	1,415,688
有形固定資産		110,281,709	105,679,811	△ 4,601,898
特定資産		31,362,092	37,412,581	6,050,489
その他の固定資産		1,255,186	1,222,283	△ 32,903
流動資産		7,460,371	7,525,700	65,329
資産の部合計		150,359,358	151,840,375	1,481,017

### ■貸借対照表各科目の主な増減理由

- ①資産の部**
  - 有形固定資産(4,601,898千円減少)**  
東京神田キャンパス15号館の売却に伴い、有形固定資産が減少しました。
  - 特定資産(6,050,489千円増加)**  
減価償却資産の更新資金の積立及び東京神田キャンパス15号館売却収入の教育施設設備充実積立引当特定資産への繰入れにより、特定資産が増加しました。
  - その他の固定資産(32,903千円減少)**  
長期前払金の一部流動資産への振替及び長期貸付金の返済により、その他の固定資産が減少しました。
  - 流動資産(65,329千円増加)**  
未収入金の増加により流動資産が増加しました。
- ②負債の部**
  - 固定負債(257,792千円減少)**  
長期借入金のうち、1年未満に返済予定の金額を短期へ振替えたこと、及び退職給与引当金の繰入調整を行ったことにより、固定負債は減少しました。
  - 流動負債(26,705千円減少)**  
未払金の減少に伴い流動負債は減少しました。
- ③純資産の部**
  - 基本金(2,571,838千円減少)**  
資産除却額が取得額を上回ったことにより、基本金を取崩しました。

### 〈繰越収支差額〉

- 翌年度繰越収支差額(4,337,352千円増加)**  
教育活動収支の改善及び基本金取崩により、翌年度繰越収支差額が増加しました。

### 負債及び純資産の部

(単位：千円)

科目	年度	2017末	2018末	増減
負債の部		8,088,912	7,804,415	△ 284,497
固定負債		4,290,597	4,032,805	△ 257,792
流動負債		3,798,315	3,771,610	△ 26,705
純資産の部		142,270,446	144,035,960	1,765,514
基本金 <sup>(※1)</sup>		157,421,516	154,849,678	△ 2,571,838
繰越収支差額		△ 15,151,070	△ 10,813,718	4,337,352
負債及び純資産の部合計		150,359,358	151,840,375	1,481,017

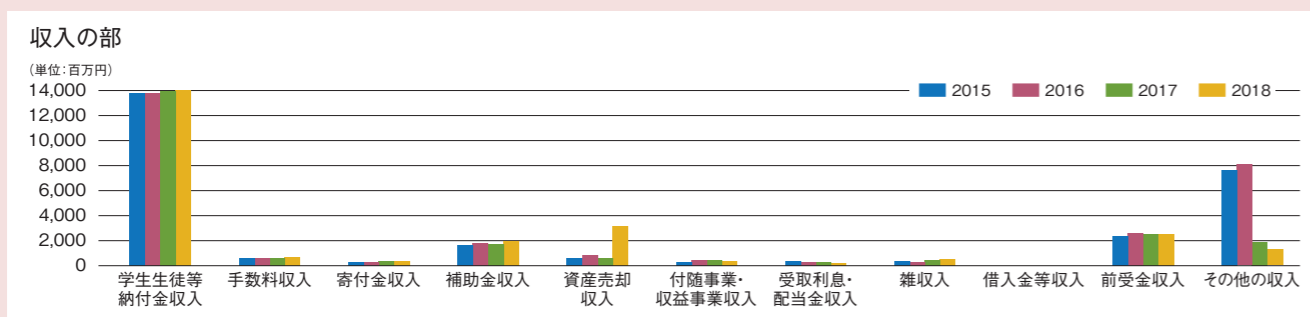
※1 学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その事業活動収入のうちから組み入れた金額です。

◎わかりやすくするため、決算報告書の貸借対照表と年度の並び順を変更して表示しています。

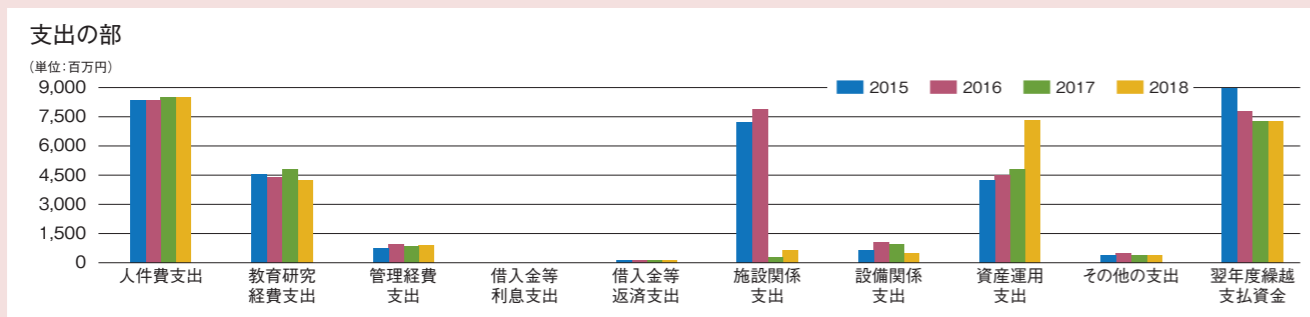
## 経年比較

財務計算書の推移(2015年度から2018年度までの数値は、次のとおりです。)

### 〈資金収支計算書〉

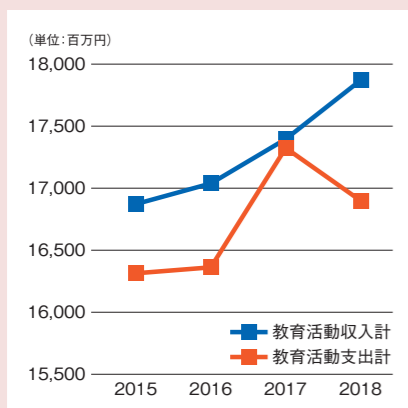


- 学生生徒等納付金収入**:授業料、入学金、実験実習費等として学則、校則等に所定の均等額を納入すべき旨が記載された納付金です。
- 手数料収入**:入学試験等のために徴収する収入、在学証明書、成績証明等の証明のために徴収する収入です。
- 寄付金収入**:金銭その他資産を寄贈者から贈与されたものです。
- 補助金収入**:国、地方公共団体、日本私立学校振興・共済事業団やこれに準ずる団体からの助成金です。●**資産売却収入**:固定資産等の売却に関わる収入です。
- 付随事業・収益事業収入**:学校法人の補助活動事業、附属事業、受託事業及び収益事業等からの収入です。
- 受取利息・配当金収入**:特定資産の運用により生ずる利息、株式の配当金等の収入です。
- 雑収入**:固定資産以外の物品の売却収入、その他学校法人に帰属する上記収入以外の収入です。●**借入金等収入**:金融機関等から借入した収入です。
- 前受金収入**:当年度に翌年度の諸活動に対応する資金を前もって受けた収入です。
- その他の収入**:前期末未収入金、預り金、貸付金回収、特定資産の取崩等の収入です。

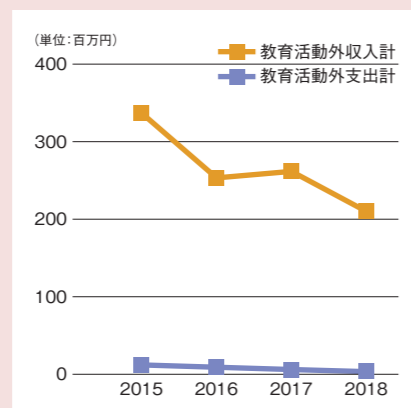


- 人件費支出**:教員及び職員人件費、役員報酬、退職金です。●**教育研究経費支出**:教育研究のために要する経費です。
- 管理経費支出**:役員、法人業務、学生生徒等募集等のために要する経費です。●**借入金等利息支出**:借入金等の利息の支払いです。
- 借入金等返済支出**:借入金等の元本返済です。●**施設関係支出**:土地、建物、構築物、建設仮勘定等です。
- 設備関係支出**:教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車両、ソフトウェアに係る支出のうち資産計上されるもの等です。
- 資産運用支出**:有価証券購入、特定資産への繰入等の支出です。●**その他の支出**:前期末未払金、預り金、前払金等の支出です。
- 翌年度繰越支払資金**:当年度末の現預金残高に一致し、翌年度に繰り越される支払資金です。

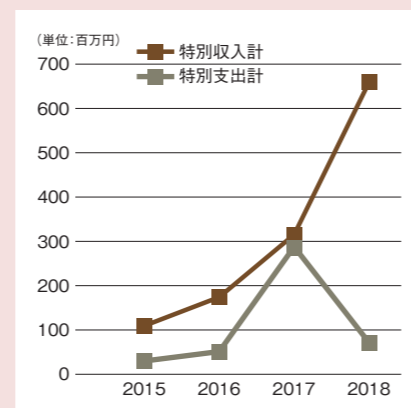
### 〈事業活動収支計算書〉



経常的な収支のうち、本業の教育・研究活動の収支状況を表します。

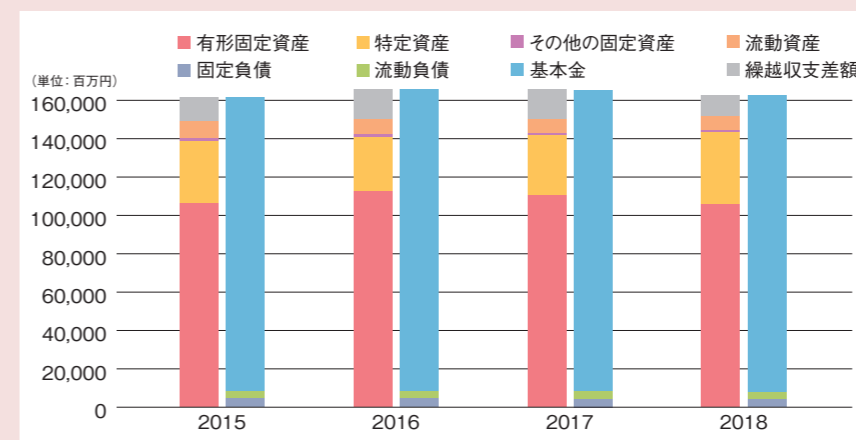


経常的な収支のうち、財務活動による収支状況を表します。



資産売却や処分等の臨時的な収支状況を表します。

### 〈貸借対照表〉

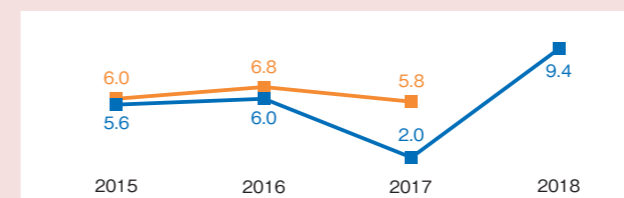


財務比率の推移(2015年度から2018年度までの数値は、次のとおりです。)

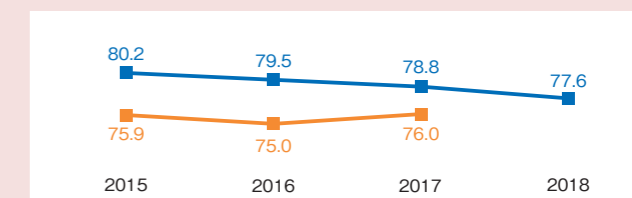
■理工他複数学部平均(「今日の私学財政」より)です。■ 本学(東京電機大学)の数値です。

### 〈事業活動収支計算書関係比率〉

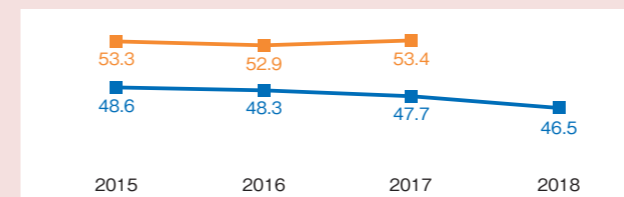
事業活動収支差額比率(%)…基本金組入前当年度収支差額÷事業活動収入(本学はこの比率の10%超過を目指しています)



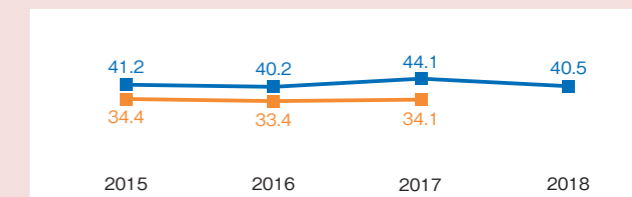
学生生徒等納付金比率(%)…学生生徒等納付金÷経常収入(安定的に推移することが望ましい比率です)



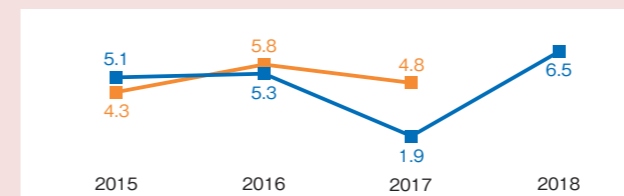
人件費比率(%)…人件費÷経常収入(本学はこの比率を45%以下にすることを目指しています)



教育研究経費比率(%)…教育研究経費÷経常収入(収支バランスを損ねない範囲で高くなることが望ましい比率です)

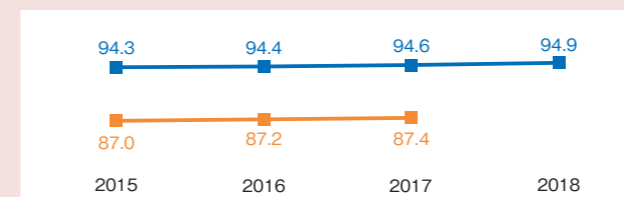


経常収支差額比率(%)…経常収支差額÷経常収入(この比率は経常的な収支の安定度を示します)



### 〈貸借対照表関係比率〉

純資産構成比率(%)…純資産÷(総負債+純資産)(この比率は自己財源の充実度を示します)



流動比率(%)…流動資産÷流動負債(この比率は短期的な支払能力を判断する指標です)

